

2016年12月

組織コミットメントと健康経営

情報学部 経営情報学科 志村ゼミ
B3P21004 浅香 拓郎

【卒業論文概要】

健康経営とは、従業員の健康こそが重要な経営資源であると位置づけ、従業員の疾病予防や早期治療に投資することで結果として医療費抑制や業務生産性向上につながり、企業価値向上を実現する考え方である。つまり、従業員の企業への組織コミットメントを高めるための施策であるともいえる。本研究では組織コミットメントを「愛着的コミットメント」、「存続的コミットメント」、「規範的コミットメント」と分類し、健康経営を会社の方針として行った施行前と施行後の従業員の組織コミットメントの変化と企業の業績を比較することで実際に健康経営は企業にどのような影響を与えるのかを調査した。

その結果、今まで企業に対して功利的な考えのみ所有していた従業員が企業に対する愛着を持つようになり、組織コミットメントのシフトが起きたと同時に業績にも良い影響を与えていることが明らかになった。しかし、健康経営は知られるようになって日が浅く、日本の企業にはあまり浸透していないように見える。日本的雇用慣行が失われつつある今、どのように浸透させるべきかを課題として提示する。